

市報

やまぐち

昭和55年

12月1日

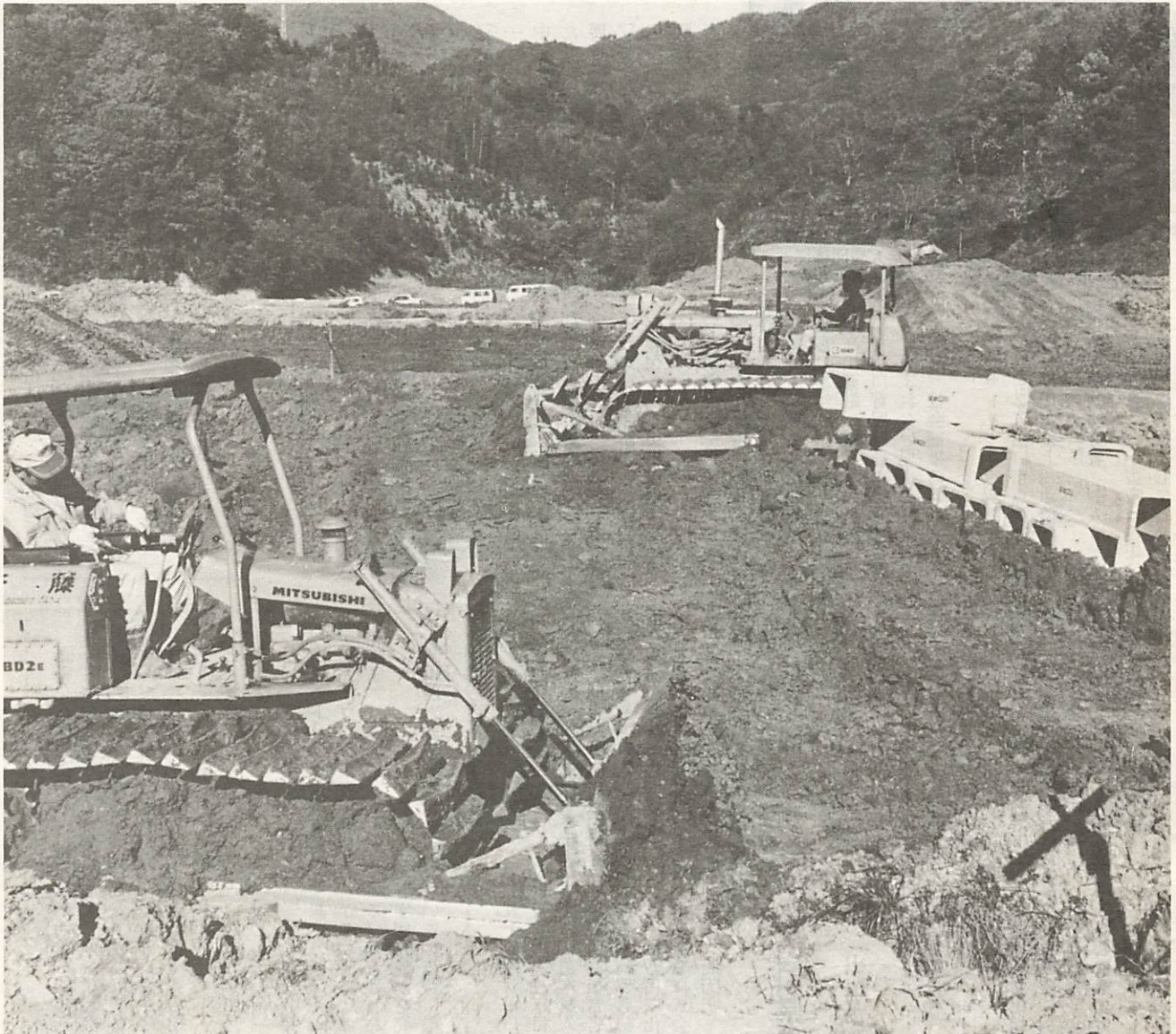
No.801

人の動き

(11月1日現在)

人口	112,325	(+71)
男	53,776	(+53)
女	58,549	(+18)
世帯数	38,369	(+59)
() 内は前月との比較		

発行所 山口市役所
 編集 企画部広報課
 印刷 (有)中央印刷社



美田に生まれ変わる 山間のたな田

進む農業基盤整備事業

(仁保上郷地区)

農地を整備し、農業の近代化を進めるために仁保上郷地区では、農業生産基盤の整備事業が市内で一番早く、昭和五十二年頃から始まり、今年もたな田を改良するために、ブルドーザの力強いうなりが山間にこだましています。

この事業は、国・県の補助を受けて、仁保農業協同組合(石部元一組合長)が「土を動かす村づくり」をキャッチフレーズに進めているものです。昭和五十七年度までの六年間に総事業費約四億六千万円で、約三十畝の水田を大型農業機械が導入できるように一区画十畝から二十畝の整形した田んぼにし、三畝の農道と用・排水路をつけます。

このほか、市内では名田島と仁保で地区再編農業構造改善事業(新農構)が行われています。名田島地区は昭和五十四年度から始まっていますが、今年度は地元からの強い要望で約五十畝、また、仁保一貫野でも今年度から約三十七畝の農地に耕地区画と農道、排水路の整備を進めています。



市政の進展などに功績があった人や団体に、堀市長から表彰状と記念品が渡されました

55年度市表彰 21人9団体を表彰

市政の進展や住みよい町づくり、文化の発展などに功績があった人や団体を「市表彰規則」によって表彰する昭和五十五年の表彰式が、十一月二十二日に市民会館小ホールで行われ、堀市長から表彰者に表彰状と記念品が贈られました。今年度の表彰者の内訳は、自治五人、社会事業一人と七団体のあわせて二十一人と九団体で、このなかには十年間にわたり、視力障害者に点訳の奉仕活動に努めた二つのグループも含まれています。(受表彰者は次のとおりです。(敬称略))

自治功労者 五人

- ▽長尾誠(71・中河原町)長年、市自治会連合会会長、地区町内連合会会長その他各種団体の役員として地域の発展と市政の円滑な運営につくした。
- ▽伊藤清(66・嘉川)▽上田清一(70・鏑銭司)▽杉山勝良(43・中央四丁目)以上は十年間にわたり市協力委員として市政の発展につくした。
- ▽平川可也(80・嘉川)長年、山口市等公平委員会委員として職員的身分保障と公正な利益保護につくした。

社会事業功労者 二人・二団体

- ▽田中慶一(77・佐山)▽永久清(72・平川)▽福永富美子(69・堂の前町)▽吉田明(64・秋穂二島)以上は長年、民生児童委員として社会福祉の増進につくした。

- ▽日井真猛(55・秋穂二島)▽久保貫道(61・白石三丁目)▽熊野忠道(61・古熊三丁目)▽神田義光(79・宮野)▽山根富士江(64・三和町)以上は長年、保護司として更生保護事業につくした。
- ▽国重賢亮(52・吉敷)長年、愛児園平川保育所長及び養護施設の指導員として児童の健全育成に努め、社会福祉の向上につくした。
- ▽高山泰蔵(51・水の上町)長年、山口育児院理事長兼院長として恵まれない児童の健全育成に努め、社会福祉の向上につくした。

- ▽山口カトリック点訳朗読グループ(木町)▽山口市点訳つくりの会(平川)以上、功績は別稿

体育事業功労者 一人

- ▽末田種彦(49・吉敷)長年、市体育指導委員として社会体育の振興につくした。

表彰をうけたなかで、目の不自由な人のために、図書の点訳や朗読、盲関係施設の訪問や盲人福祉協会の行事への協力など、視力障害者との心の交流を深め、積極的にボランティア活動をしている、二つの団体を紹介します。

山口カトリック点訳朗読グループ (代表者・瀬川禮子)

昭和四十五年十一月に点訳

人命救助者 三人

- ▽仲本吉人(48・仁保)今年八月三十一日仁保中郷の谷川に転落し水死寸前の老人を機敏な行動と適切な処置で救助した。
- ▽山本章(33・防府市)▽横山政喜(28・広島市)以上は今年三月十九日小鯖のため池で水死寸前の児童三名を機敏な行動と処置で救助した。

寄付功労者 一人・七団体

- ▽佐々木茂(65・佐山)日本画一点(三百万円相当)▽国際ソロブチミスト山口(後河原)市歴史民俗資料館備品整備資金二十万円▽山陽コンクリート工業株式会社(大歳)市制施行五十周年記念事業資金二百万円▽株式会社ちまきや(中市町)フアン・カルロス国王陛下肖像画(六十万円相当)▽山口西京ライオンズクラブ(湯田温泉四丁目)市歴史民俗資料館植樹資金

奉仕を目的に結成、会員は十七人。有益な図書を点訳し、県立点字図書館に寄贈。また、後進の育成のために、点訳希望者の指導にも努めている。

山口市点訳「つくりの会」 (代表者・川上雄二)

四十九年四月からは、声の市報として市報「やまぐち」を各号一人が受け持ち、テープに収録。八ヶの市報が約六時間かかる根気のいる仕事を続けている。録音されたテープは県立点字図書館から発送される。このほか、県の広報紙「グラフ

昭和四十五年四月に設立し会員は三〇人。図書の点訳、七月から九月にかけて週一回の点訳講習会の開催、市福祉体育大会や春のハイキング、野球大会など盲人福祉協会の行事に参加するほか、下関盲学校、光林園の施設訪問をするなどの奉仕活動を実施。

山口県選奨に

山口市から 七人 (敬称略)

- 〔自治功労者〕
- ▽中野正(65・大内・市議会議員)
- 〔芸術・文化功労者〕
- ▽臼杵華臣(64・本町二丁目・防府毛利報公会毛利博物館長)
- 〔社会事業功労者〕
- ▽佐田三四二(79・中央一丁目・県肢体障害者更生指導所職能指導員)▽中村キヨコ(71・佐山)

市議会12月定例会

15日間の会期で

十二月定例会市議会が十二月二日から始まります。会期は十六日までの十五日間です。日程は二日議案説明、八日・九日一般質問・質疑、十日・十一日委員会、十六日委員長報告、討論・採決です。

亀山公園 整備計画

緑ゆたかな市街地に

県の美術館や博物館、図書館などの文化施設が並び、もの静かで歴史的なふん囲気をただよわせている亀山周辺。

このあたりを公園化して、豊かな緑と広場を確保し、市民に安らぎと居るおいを与える場所にするための、亀山公園整備計画が進められています。

これは県と市が整備区域を分担して進めているもので、県はすでに美術館の建設に合わせ、昭和五十二年頃から整備を始めていますが、市は今年度から工事に取掛かることになっています。



旧山大経済学部グラウンド跡地の整備に着手

市が整備する旧山口大学経済学部グラウンド跡地は、国が松柄遺跡の指定をされているために、埋蔵文化財の調査を進めていたが、このほど調査が完了したので、まもなく整備工事に掛かります。

公園化

周辺パークロードと春日山

グラウンド跡地の面積は約二畝で、昭和五十八年度までの四か年で総工事費約二億一千万円で整備しますが、今年度は排水幹線の埋設工事を施工することに なります。

五十六年度以降に整備する主な施設は、次のようなものがあります。

- 入口広場
利用しやすい公園としてのふん囲気をもつ空間をつくり、利用者のサービスをはかるために、売店や便所、また休憩ができるパーゴラをつくる。
- 子供広場
子供たちがキャッチボールやソフトボールができる広場をつ

くり芝張りとする。また、子供たちが自転車で乗りつけることも考え、自転車置き場のスペースを確保する。

- テニスコート
テニスコート五面をつくり、用具庫には更衣室、シャワー、ロッカーなどのほか便所を設置する。ベンチは樹木の下に配置して夏は木陰で、冬は日だまりで観戦したり順番が待てるようにする。

亀山と春日山を陸橋で結んで散策道に

県総合庁舎の移転が完了したあとの跡地や鳳陽寮跡、春日山

一帯は、県が亀山公園整備事業として整備を進めます。

また、亀山と春日山とは陸橋で結ばれます。



入口広場などができ、緑ゆたかな公園に生まれ変わる旧山大経済学部グラウンド

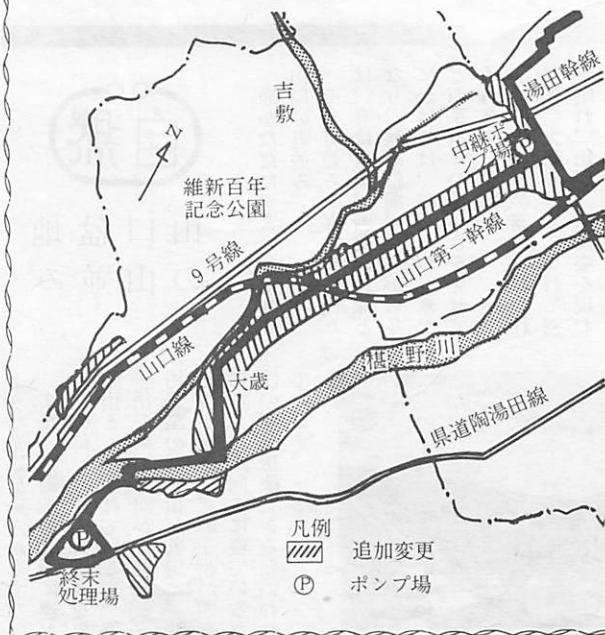
公共下水道 計画区域を変更

公共下水道事業は、昭和五十六年十二月に浄水センターの通水を開始し、五十七年度から湯田地区の一部を供用開始することになっています。

現在、下水管きよ、湯田中継ポンプ場・処理場等の各施設の建設工事は順調に進んでいますが、このたび計画区域を一部追加変更しました。

追加した区域は、湯田幹線、山口第一幹線の沿線と浄水センター付近など一〇・五・五畝です。

近く事業認可をうけて計画区域に編入し、年次計画により工事を実施することになります。



消防特集

一瞬のうちに全財産を失う火災や思わぬケガとか急病は、いつ起こるか分からない災難です。

特に、火災やケガは類焼や交通事故などにみられるように自分が気をつけていても被害者になることもあります。

そこで、今回は、消防や救急業務の状況などについて消防署をたずね、その備えや対応を紹介しましょう。



消火活動や人命救助に備えてはしご車による訓練

昨年の火災発生 75件
損害額 七千九十万円

昨年発生した火災は七五件、損害額は七、〇九〇万円に及んでいます。

これを一昨年と比較すると、火災件数は五件、損害額は約二、四〇〇万円の減少となり、人口一人人に対する出火率からみても、昭和五十二年の七・九件をピークに、五十三年の七・三件、五十四年の六・九件と減少の傾向にあります。

火率は高く、全国の平均出火率五・五件を上回り、近隣の防府市の四・七件や宇部市の六・八件と比較しても高い出火率となっています。

また、今年の火災発生件数も十月末現在で五二件を数え、損害額も六、六六〇万円にのぼっています。

火災原因 たき火(11件)、たばこ・マッチの不始末など

昨年発生した火災七五件を種別ごととみると、建物が三六件、林野が一二件、車両が六件、そ

もつと欲しい防火意識 出火率 全国平均を上回る

の他が二一件となっています。このうち、建物火災三六件の内訳は、住宅が二五件、作業所が三件などで、住宅火災だけで六、四〇〇万円近くの損害をこらひつています。

また、昨年の火災原因では、たき火が一一件と最も多く、たばこ・マッチの不始末、天ぷら

油の加熱、草焼きの各五件などが原因の上位を占めています。

戸別1個の消火器を、

火災は起こるかも知れない。この意識を常にもち、消火器がバケツ一杯の水を備え、火元に

昭和54年地区別火災発生状況 (単位:件)

地区別	種別			計
	建物	林野	その他	
計	36	39		75
仁小大宮大白湯吉大平	2	1	3	3
保内野殿石田敷歳川	1	2	3	3
陶	1	1	2	2
銭田	3	3	6	6
二島川	5	3	8	8
秋穂	4	2	6	6
嘉佐	4	3	7	7
	1	3	4	4
	2	3	5	3
	3	0	3	1
	0	1	1	4
	0	4	2	3
	1	2	9	14
	5	0	0	0

最近5か年の火災発生状況 (単位:件)

種別	年別					
	昭和54年	昭和53年	昭和52年	昭和51年	昭和50年	
出火件数	建物	36	39	45	30	31
	林野	12	17	14	16	12
	船舶	0	0	0	0	0
	車両	6	5	3	1	2
	その他	21	19	22	14	14
計	75	80	84	61	59	

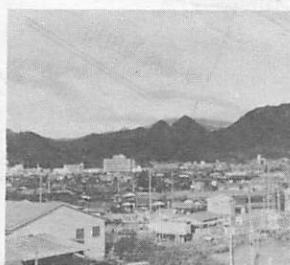
自然

山口盆地の山並み

静かなたたずまいを見せる山口の町並み。

その町並みをとりにくく山々は、春は青葉、若葉の新緑となり、秋は紅葉、晩秋から冬にかけては、町をおおう霧など四季折々の美しさを見せてくれます。

特に山々が濃霧におおわれた朝、太陽が昇るにつれて霧が晴れ、山が徐々に姿を現わしたとき、あたかも水墨画の



ような光景が見られます。また、市街地の北西に連なる鴻の峰、双子山(別名を兄弟山とも呼ばれている)、障子岳を東の方向から見ると、円錐型の双子山が乳房に、鴻の峰が腹部に、障子岳が頭部に見え、上向きに寝ている女性の姿が想像できるといわれています。

市民

山口詩話会 会長 清木顯太郎さん

「山口は楽しい町です。山の緑と川の水がきれいだから考えることがロマンチックになります。趣味のグループ活動も盛んですし、グループに入っていると友達もたくさん



できます。いい所へ住まわせてもらっています」

山口詩話会の会長清木顯太郎さん(包)はこう話します。清木さんは子供のころに、子守りをしてもらった祖父が漢詩が好きだったために、その影響で詩を学ぶことになったようです。

会は、昭和五十一年八月に発足し、一年間の作品のまとめの詩集の発行も今年で四回を数え、名称も市の花木をなぞり「もくせい」としています。清木さんは多趣味で、詩のほか和歌や俳句もつくり、またこの十月にはパンブローナ市に姉妹都市をたたえる詩を贈るなど、忙がしい日々を送っています。

昨年の救急出動 二千件
市民58人に1人が利用

昨年一年間に、消防署の救急自動車が出動した件数は一、九五八件です。

これを事故別にみると、最も多いのが、急病で、八二二件。全出動の約四十二パーセントを占めています。次いで多いのが交通事故の四六三件、一般負傷の二四三件となっています。

また、昨年の搬送人員は、男一、一〇四人、女七六五人の合計一、八六九人で、市民五八人に一人が救急自動車を利用したことになります。

時間別出動では
昼前と夕方が多い

昨年の救急出動状況を時間別に見ると、午後五時から六時ま

でが一二八件と最も多く、次いで午前十時から十一時までが、一二四件となっています。

しかし、午前八時から午後九時までの各一時間の出動件数は、いずれも年間一〇〇件前後で、真夜中の午前〇時から一時までの間も六〇件です。最も件数の少ない午前四時から五時までの間でも二四件の出動をみえています。

また、今年の救急出動件数は十月末現在で、七二八件、救

救急出動 一日平均 5.4 件

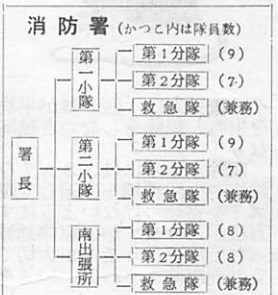
通報はテキパキと的確に

一分一秒を争う救急業務
救急隊は3隊編成

救急業務は、急病患者や災害などによる負傷者を医療機関に搬送する業務です。

この業務を行うために消防署では、別表のように三隊の救急隊を編成しています。

その人員は、別表かつ書きに示すように、通常、消防署には一四人から一三人が勤務し、



を除いた六人から五人が消火活動に当たることとなります。

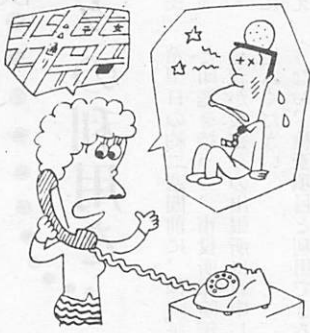
もちろん、救急隊は搬送後、直ちに、消防署に戻りますが、

急自動車を利用した人は、一、六三九人にのぼり、昨年の全件数の約八八パーセントに達しています。

「一一九番通報」の注意

火災や救急事故で「一一九番」に通報するときは字名、番地のほか、目じるしになり

やすい建物などもお知らせください。火災の場合は何が燃えていて、まわりの状況はどうか。救急事故の場合はどんな事故で、負傷者は何人か、また急病のときはどんな病状か、などできるだけわかりやすくお話ししてください。



火災、救急は寸刻をあらそいます。現場の状況に適した措置がすみやかにとれるよう心がけてください。

昭和54年地区別・事故別救急出動件数 (単位:件)

地区別	事故別	小計											その他
		水難事故	火災	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行爲	急病	その他	その他	
仁保	33	1	13	2	4	1	10	4	11	4	1	22	4
小内	65	2	25	4	5	4	17	2	62	27	2	62	27
大野	154	1	36	5	4	1	17	1	73	5	1	73	5
宮野	145	4	36	3	1	21	13	2	77	21	1	77	21
大石	147	5	23	5	13	2	1	4	114	48	4	114	48
白湯	259	5	45	11	10	31	1	6	140	44	1	140	44
吉敷	293	5	49	2	1	39	7	6	140	44	1	140	44
平川	93	4	27	4	9	15	1	2	27	4	2	27	4
大蔵	123	1	37	5	9	11	1	3	54	7	1	54	7
陶蔵	91	1	26	5	11	1	1	4	40	3	1	40	3
陶司	34	3	13	2	6	3	2	2	8	6	11	8	6
田島	37	1	14	1	1	3	2	2	6	3	20	6	3
秋田	41	1	9	1	1	4	1	4	13	4	13	4	4
二島	31	1	8	1	1	4	1	4	13	4	13	4	4
嘉川	58	6	15	3	6	6	1	1	24	2	24	2	2
山那	11	1	3	3	3	3	3	3	5	5	5	5	5
小佐	343	2	84	7	5	41	2	3	127	72	2	127	72
合計	1,958	40	4,463	42	42	243	15	29	823	257	40	823	257

救急出動に際しては、救急隊長、機関員、救急隊員の三人が一台の救急自動車に同乗して業務に当たります。

このため、二件の出動が同時間にあると、六人が出動し、二人が通信業務に残るので、このとき、火災が発生すると、八人

消防署では、今までに三台ある救急自動車も同じ時間帯に出動したこともあり、火災と急病などが重なると、正に一分一秒が非常に貴重な時間となります。こうした事態に備え、「一一九番」通報は、テキパキと的確に行ってください。



施設

住みよい環境
づくりの監視役
公害センター

大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地

環境をよくするために、職員一丸となってガンバッテいきます。

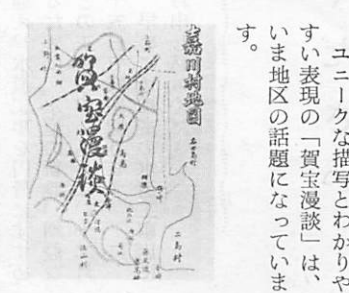
△職員の声▽

大蔵朝田にあります。建物は、鉄筋コンクリート三階建てで、玄関を入ると左手にエレベーター室があり、ここで県下主要工業地域をネットワークとする大気汚染の監視をしています。硫酸化合物や二酸化窒素などが基準値以上になったときは、直ちに保健所を通じて一般に知らせ、発生源に対し、ばい煙等の減少措置の協力要請、勧告などを行っています。

自分が住んでいる嘉川を、少しでも後世に伝えたい。嘉川深溝東に住む矢儀正雄さん(82)はこのほど、地区にまつわる言い伝えをまとめて「賀宝漫談」を発刊しました。

古老を尋ねて話しを聞き、実際にその現地を尋ね自分の目で確かめるなど、発刊までには三年かかりました。

昭和五十一年に「深溝地方文化史」、五十三年に「続・



088-889-3637

話題

82歳の矢儀正雄さんが発刊した「賀宝漫談」

深溝地方文化史」を発刊し、嘉川の深溝にふれたのに対し、今回の「賀宝漫談」は広く嘉川全体を紹介しています。大きさはB6判で六七ページ、三十二項目に及ぶもので、内容の一部が表紙のことば、二部が平家残党の衆落などからなっています。

ユニークな描写とわかりやすい表現の「賀宝漫談」は、いま地区の話題になっています。

国民健康保険

人間ドックの利用を

市では、十二月一日から国民健康保険の加入者の「人間ドック」施設利用を開始します。

これは、人間ドックの検査によつて外見上は健康そうにみえても潜在している病気を見つけて、早期治療を行い健康で幸せな生活を過ごしてもらうためのものです。

希望日の約二週間前に、保険証と印鑑を持って、市役所保険年金課か最寄りの出張所にお申し込みください。

なお、検査項目と利用できる医療機関は次のとおりです。

■検査項目

血圧、検尿、検便、末梢血検査、血液化学検査、血沈、血清、胸部・胃及び食道のレントゲン検査、心電図、眼底、眼圧など

利用できる人は

この制度を利用できる人は、国民健康保険の加入者で、四十歳以上の人です。料金は約三千元(かかった費用の一割)、利用回数は年一回です。

申し込みは

検査を希望される人は、検査

現山ササキ医院、久富眼科、赤川医院、堀田医院、山口病院、済生会山口総合病院

(南部地区)

村田医院、阿知須同仁病院、佐々木眼科医院、田中内科医院、阿知須共立病院、山口総合健診センター、三隅外科医院、相川医院、河端内科医院

国民健康保険・国民年金

納めた保険料の

証明書を発行します

昭和五十五年一月から十二月までの間に納めた、国民健康保険と国民年金の保険料の証明書を、五十六年一月に配布する納付書(国民健康保険料八期分・国民年金保険料四期分)に添付してお届けします。

この証明書は、所得税、県市民税の申告に必要です。申告時にご利用ください。

途中で資格がなくなった人、未納保険料のある人、または、証明書発行までに納めた保険料の金額が必要な人は、市役所保険年金課か最寄りの出張所へおたずねください。

市営バス

新春九州三社初もうで

九州三社(太宰府天満宮・宮崎宮・宮地嶽)に初もうでの会員を募集しています。

日時 昭和五十六年一月四日

午前七時五十分市民会館小ホール人口集合

会費 大人四千五百円、子供四千元

コース 市民会館前(午前八時出発)―太宰府天満宮(昼食)―宮崎宮―宮地嶽神社―市民会館前

申し込み 十二月二十日まで

に、市交通局営業課電二二―二五五五へ。

国民年金額が改正

拠出年金は7月分から

このたび国民年金法の一部が改正され、拠出制の国民年金が7月分から、福祉年金が8月分からそれぞれさかのぼって下表のとおり引き上げられました。(ただし5年年金は8月から271,200円に改正)このたびの改正で、母子・準母子年金受給者に年間18万円の加算金の新設されました。この加算金は、他の年金制度から遺族年金を受けられる人や老齢年金、障害年金を受けている間は支給されません。

新年金額 (単位 円)

種 類	新年金額	旧年金額
拠出年金	老齢年金 { 5 年 年 金 259,200 241,300 10 年 年 金 318,600 296,900 25 年 定 額 納 付 504,000 470,700	
	障害年金 { 1 級 627,000 597,500 2 級 501,600 478,000	
	母子・準母子・遺児年金 (子等が1人の場合)	501,600 478,000
	母 子・準 母 子 加 算 金	180,000 -
福祉年金	老 齢 福 祉 年 金	270,000 240,000
	障 害 福 祉 年 金 { 1 級 405,600 360,000 2 級 270,000 240,000	
	母 子・準 母 子 福 祉 年 金 (子等が1人の場合)	351,600 312,000

ネズミ退治をしましょう



12月から3か月間「ネズミ駆除期間」です。ネズミは、食中毒や赤痢を媒介する害獣で、家屋に侵入して被害を与えます。

その繁殖力は1匹の雌が平均3か月に1回6匹の子を生みます。駆除をしないと幾何級数的に殖えることになり、被害は拡大します。駆除には、ネズミを殺して駆除する殺ネズミ剤や生活環境を圧迫して駆除する環境駆除法、ネズミを寄せつけずに忌避駆除法の三つが有効です。また、地域で共同駆除をすれば、いっそう効果があがります。

水道管に



水道管の「冬」はもうお済みですか。

寒さが厳しくなり、気温が摂氏マイナス四度以下になると、水道の水が凍って、水が出なくなり、水道管が破裂したりします。とくに、水道管がむき出しになっているところや北向きにあるところ、風の強いところは、早目に「防寒策」を講じてください。

冬じたくは、簡単にできる水道管の「冬じたく」は、手近にある布やなわ、こもなどを水道管に巻きつけ、この上からビニールやテープなどを巻きつけ凍結を防ぎます。

水道局では、年末の繁忙期を迎え、水道工事を円滑にすすめるために、水道の新設、増設などの工事の申し込みは、十二月十五日で締め切ります。

早めに市指定の水道工事店にお申し込みください。

工業統計調査

ご協力ください

十二月三十一日現在で、「工業統計調査」が全国いっせいに実施されます。この調査は、製造業に属するすべての事業所を対象として、我が国製造業のすがたや、生産活動を明らかにし、政策などに役立てるものです。

なお、今回はエネルギー消費構造統計調査と山口県工業製品・原材料などの流通調査も同時に実施します。市内では二百三十五の事業所に調査員が伺いますので、調査にご協力くださいますようお願いいたします。

(7)



△7,200人がクリーン作戦を展開

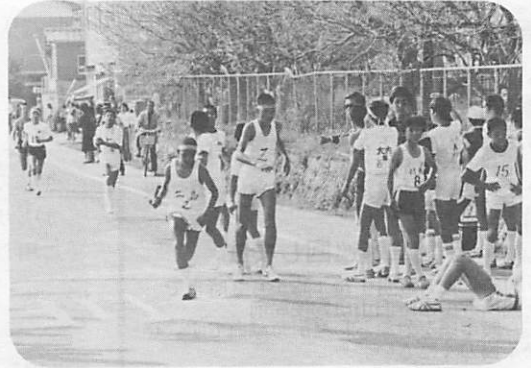
青少年社会奉仕活動の一環として、11月16日126団体約7,200人が参加して、市内全域の公共施設や河川のクリーン作戦を展開。約20トンのゴミが集められました。(写真は校外奉仕活動として一ノ坂川を清掃する大蔵中の生徒たち)

▽練習の成果を発揮

大内地区男子バレーボール大会が、11月16日大内小屋内体育館で12チームが参加して開かれました。強烈なサーブやスパイク、ネットぎわのプレーなど練習の成果を発揮、コートいっぱいを使って試合を行っていました。



▷六区間で健脚を
十一月十六日、市中学校駅伝大会に二十一チームが参加。市民会館前から仁保を経て大内中までの六区間二三・八キロで健脚を競い、二島中が一時二一分の新記録で三連勝しました。



▷男子に混って
十一月十六日大蔵文化祭が大蔵小学校などで開かれ、もちまきやバザール文化展など楽しい催しもありました。特に、ちびっこ相撲大会には約百人の子供が参加、男子に混って女子もガンバッていました。



▷息の合った音色を
市内の全小学校が一同に会して、十一月十八日市小学校合同音楽会が開かれました。今年はろう学校も加わって十九校が参加。参加者全員の合唱や日ごころ練習した合唱や合奏を披露し、息の合った音色を聞かせていました。(写真は興進小の児童たち)



同和問題を考える

学校における同和教育は、どのようにすすめられているのでしょうか。今回から、山口市内における児童・生徒の同和教育に関する作文を三回にわたって紹介します。どの作文も、授業のあと、感想文としてまとめたもので、先生方の教育のあとが、よくうかがえるものばかりです。

学校同和教育の中から



同和問題を考える

「さるさちくん」
さるさちくん、げんきがいいですね。でも、石なげだけはやめてくださいわね。かにさんが、けがをしたら、どうしますか。もし、さるさちくんが、石をぶつけられたら、どうでしょう。さるさちくん、がまんできますか。きつと、「やめてくれ、やめてくれ。」とおこるでしょう。ぼくたちのせんせいは、けんかをしたり、よわいものいじめをしたら、すぐおこり

—子どもの心にふれる— (1)

ます。だから、ぼくたちは、みんななかよくべんきょうしたり、あそんだりしています。ぼくたちのおへやにも、「なかよく」と、いうかあどが、かけてあります。さるさちくん、よわいものいじめはしないでね。—小学校一年生 男子—
小学校では、それぞれの学年に応じた学習内容を身につけさせ、特に、人権尊重の精神を基礎に、日常生活の中でお互いに助け合い、差別を見ぬく力と差別を許さない心情を育て、仲間づくりの大切さを学んでいます。特に低学年では、遊びを通して友達存在を知り、仲よくすることを生活の中で学習しています。友だちを助け、友だちに助けられ、励まされて生活することによって、楽しく充実した学校生活を送ることができるのです。この年代の子どもは、いじめたり、いじめられたりすることが、日常生活の中でよくあることです。このようなことを無意識のうちに繰り返しています。いじめられた時の気持ち、友だちをけつしていじめてはいけないのだと、学習によって気づく時、友だちをたいせつにする態度が身につくのです。

